

建築文化賞

景観に配慮した建築物

建築主：学校法人城西大学

設計：株式会社久米設計

施工：清水建設株式会社 千葉支店

所在地：安房郡鋸南町下佐久間字西田子道上1510-2

南房の風景に溶け込む地域開放型施設

城西大学鋸南セミナーハウス(Ⅰ期)



長く連なるドミトリのデッキ空間が豊かな自然を享受する。

敷地は、安房勝山の海岸から東に約1.5km、街と周囲の山並みと浦賀水道を見晴らす海拔65mの丘の上に位置する。ここには、かつて鋸南第二中学校があった。セミナーハウスは、新たな造成を行わず、中学校の跡地をそのまま活かして建てられている。

施設は、東側の高みを背に、エントランス棟、ドミトリ、セミナールームが、木立ちに縁どられた庭を囲んでL字形に配置されている。3つの棟は、いずれも庭に向かって大きな開口をとり、前2者では広いテラスが、屋内と屋外の空間を結び付け、伸びやかな眺望を楽しむことのできる心地よい半屋外空間を生み出している。

L字の要に位置するエントランス棟は、主要部をRC造とし、それを集成材の柱・梁・斜材の架構で覆うことによって、2層吹抜けの内部空間とともに、透明で軽快なファサードをつくりだしている。左

右のセミナールームとドミトリは、高さを抑えた軒と連続するデッキによって水平性を強調しつつ、適度のスケール感で分節されている。丘の上という敷地条件に配慮し、存在感を過度に主張せず、風景の中に溶け込んだ、好感の持てる建築である。

学生の利用だけでなく、地域貢献が重視され、地元住民のための公開講座が定期的に開かれているという。また、今後、Ⅱ期工事でドミトリとセミナールームの増築などが予定されている。周囲の環境との調和を維持しつつ、地域開放型の施設として、いっそうの充実が期待される(北原理雄)。



カフェテリア、ラウンジの夕景。



訪れる人々を導き入れる杉板の壁とエントランス。

(撮影/三輪晃久写真研究所)